

保護司会会報

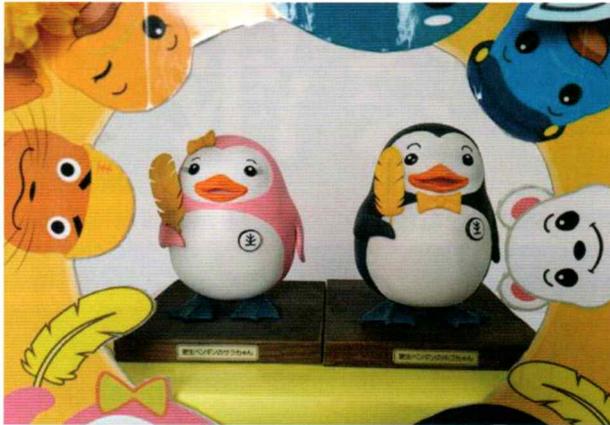
発行 西多摩地区保護司会 会長 原島 悟 編集 西多摩地区保護司会 広報部 発行日 令和5年11月15日



青梅市下長洲 お祭り鹿舞



日の出町下平井の鳳凰の舞 (ユネスコ無形文化遺産)



第73回 社会を明るくする運動 八分区活動報告

地域活動部長 指田 勇

第73回「社会を明るくする運動」は、各市町村の推進委員会から七月駅頭広報・七夕祭り広報・瑞穂町独自の中学生向け劇上演・八月檜原村弘沢の滝祭り・九月初旬の小・中学校の作文コンテストまで、各分区、行政等が計画を実行して頂き、地活部員及び正副会長、各分区への応援支援有難うございました。

今回はコロナが5類になった事で各分区の活動が活発になり、参加人数も

員も、保護司会・更生保護女性会も増えました。特に行政・各種団体は昨年の倍に、中学生二十二名から三百二十名、教員四十九名から百六十二名と参加者が大幅に増えています。

参加保護司の活動内容は、駅頭・学校訪問・小中高啓発・イベント（祭り等）で参加人数の約半数を締めています。

各分区での費用も行政からの補助も大幅に増えています。総合計でも百万円を超えています。

各分区それぞれに工夫を凝らして、特に曜日、時間等また、いつものティッシュからウエットティッシュに変えたりしていました。

結びに、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラにどの程度なれたかは分かりませんが、来年も頑張ります。



第73回「社会を明るくする運動」各分区への応援支援者リスト

分区活動名	日付	時間	場所	応援支援者
青梅分区 駅頭	7/3	16:30~	河辺駅南口	倉持・小野・吉野
福生分区 駅頭	7/4	15:50~	福生駅	
		16:30~	牛浜駅	
七夕祭り	7/8	14:00~	市役所（郵便局側）	対馬・倉持・小野・福田
	7/9	14:00~	市役所（郵便局側）	指田・本橋・小峰・中野
あきる野分区 駅頭 (武蔵五日市駅、武蔵増戸駅、秋川駅、東秋留駅)	7/5	7:00~8:00	武蔵五日市駅	指田・瀧島
			秋川駅	小峰
瑞穂分区 福生警察署の協力で劇上演	7/12	13:30~	瑞穂中学校	倉持・福田・青谷・瀧島
日の出分区 駅頭	7/3	7:00~	武蔵引田駅	【駅工事中に付応援不要】
奥多摩分区 駅頭 (奥多摩駅、古里駅)	7/3	7:00~	奥多摩駅	原島・森本
檜原分区 駅頭	7/5	7:00~	武蔵五日市駅	指田・瀧島
弘沢の滝ふるさと夏まつり	8/19	17:30~	弘沢の滝、檜原小学校	原島・指田・森本
羽村分区				【駅頭は中止】
瑞穂分区				【駅頭は中止】

○青梅分区長 本橋 義雄

新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に位置づけられた中で第73回「社会を明るくする運動」となりました。

①昨年と同様に、市内の中学校の生徒に社会を明るくする運動への理解を深めていただくため、本運動の青梅市推進委員長である青梅市長からのメッセージを吹き込んだCDを作製し、休み時間に生徒に聞いてもらいました。



②青梅線河辺駅頭および市立中央図書館前にて、七月三日に広報活動を行いました。

③地区ごとの市民センター等を会場とし、地域の青少年健全育成団体で活躍する方々に、最近の犯罪や非行の状況について情報提供しました。また、犯罪や非行を防止するための方法などについて意見交換を行う地区座談会が五か所で行われ、今秋、もう一か所で開催される予定です。以上、主な活動報告となります。来年度も、地道な取り組みを重ねていきたいと考えています。

○福生分区長 郡司 光志

令和五年度の「社会を明るくする運動」は、コロナ禍の中で制限された活動から四年ぶりに制限のない活動ができました。

①六月二十七日、福生地区推進委員会を開催し、「福生市における多文化共生について」と題して講演会を実施し、市内の更生保護女性会や各種団体から多数の方々に参加していただき盛況のうちに終了いたしました。

②七月四日には福生駅と牛浜駅において、市内三校から多数の中学生、福生警察署員、更生保護女性会とともに「社会を明るくする運動」の活動を実施し、多くの市民に啓発する



ことができました。

③七月八日、九日の二日間開催された「ふっさ七夕まつり」には、メイン通りの市役所前において西多摩地区保護司会の幹部の皆様とともに社明啓発グッズを配布し、成果を上げることができました。四年ぶりに開催されたこの七夕まつりには五十二万人の来場者があったとのことでした。

④十月二十二日には、福生市が主催する「ふっさ健康まつり」に社会を明るくする運動啓発活動を行いました。今後も福生分区一丸となり各種団体からの協力をいただきながら、社会を明るくする運動啓発活動を行ってまいります。



○羽村分区副分区長 中野 秀之

当分区の社会を明るくする運動は、昨年と同様に接触機会の多い活動を中止する中で、デジタルサイネージや市公式ツイッターへの掲載、テレビ羽村にCM動画の放映など、これまで活用したことのない新たな広報媒体を使用しました。市役所ホールにて、ティッシュ、バンドエイドを配布し、ポスター掲示などにより、本運動の周知徹底を図ると共に、昨年と同様公用車に同乗し、七月三日と十日の両日に羽村駅方面及び小作駅方面の市内広報活動を実施しました。



また、社会を明るくする運動作文コンテストについては、市内小・中学校から昨年を上回る二百三十四点の応募があり、次世代を担う小・中

学生の皆さんに犯罪、非行をした人の立ち直りについて考えたこと、感じたことを作文に書くことを通じて、本運動に対する理解を深めてもらう目的は達成できました。来年の社会を明るくする運動は、以前から実施していた駅頭広報活動や市内学校訪問、羽村市大会などの活動内容が滞りなく行われるようお願いしております。



○あきる野分区 田中 守

令和五年度第73回「社会を明るくする運動」は、保護司になって初めての取り組みであり、コロナ禍において通常の活動ができなく四年ぶりの事業推進について地区委員会での取り組みの打ち合わせ、担当地区の学校との連携、子どもたちの日ごろの状況など直接学校への訪問をして聞くことができました。

事前の準備や、推進活動の駅頭での啓発活動は、以前の経験では地域の大人が四十名程度と中学生と一緒に駅頭でのティッシュ配布をした記憶がありました。

今回は人員の縮小をし地区の中学生を中心とした十名程度での駅頭啓発活動を実施しました。中学生も初めての体験で最初のうちはどのような様子に手渡しをしたらよいか不安の様子



でしたが、徐々に慣れ子どもらしく積極的に工夫をして思ったよりしっかりとした態度で時間内に配布も終わることができました。

その後各地区での活動の報告を受け、今回の推進活動も無事に終了ができたものと思います。今後、何かの折に今回の経験で、一人でも犯罪のない明るい社会の実現に寄与されることを期待します。

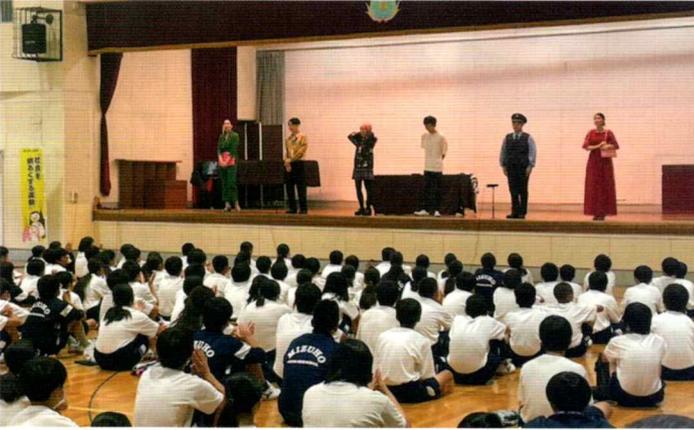
最後に、今回の開催にあたり地区委員会での取りまとめをされた分区長さんをはじめ全保護司の皆さんの協力参加により活動が終了でき、なかなか話す機会もなかった保護司の皆さんとも顔を合わせることで今後の保護司活動で私には貴重な体験となりました。

推進活動にご参加、ご協力をいただきました保護司・学校関係者・事務局の皆様にお大変お世話になりました。

○瑞穂分区長 志村 武保

新型コロナウイルスが5類になり、少しずつ日常が戻ってきました。しかし完全にウイルスが無くなったわけではなく、不特定多数の人と接するには時期尚早と判断し、駅頭広報活動は断念しました。

代って昨年度と同様に非接触型の展示広報方式による活動を実施しました。七月の強化月間では町内公共施設等で、のぼり旗、ポスター掲示、チラシ、啓発グッズの展示及び配布を実施しました。



中学校訪問では、更生保護女性会と協力し、二つの中学校の全校生徒を対象に保護司の役割や社明運動の概要について説明をしました。特に瑞穂中学校では、福生警察署を通じて東京都治安対策課の依頼で、劇団による劇をお願いしました。今、社会問題にもなっている特殊詐欺や闇バイトについて、迫力ある演技を観ることができました。生徒にとってはインパクトのある内容だったと思います。この劇を通して犯罪に対する意識が高まり、加害者にも被害者にもならないことを願っています。

○日の出分区長 辻本 恵子

今年度は昨年度と違って、田村町長に直接メッセージをお届けし、取り組みについてご相談する事ができました。

三年ぶりに開催した推進委員会で五日市警察署大久保係長より「青少年を取り巻く犯罪（闇バイト・特殊詐欺等）」の講演をいただきました。推進委員の皆さまに「社会を明るくする運動」の活動への理解をいただけたと思っています。



駅頭・イオンでの啓発活動も規模を縮小して行う事ができました。

コロナ以前の日の出の一大イベント親子ふれあいマス釣り大会は、三年間の空白で経験のある人手や予算も厳しい現状であり、それに代わるイベントもすぐには見つかりませんでした。その後、青少年健全育成会でマスのつかみ取り大会をするとの事で、「社会を明るくする運動」ののぼり旗と啓発グッズを持参し、協力参加しました。この経験を、来年度の活動に生かしたいと思っています。

○奥多摩分区長 小峰 一郎

七月三日朝七時、奥多摩駅にて師岡町長、野崎教育長、民生児童委員、更生保護女性会の皆さんに協力していただき「社会を明るくする運動」セレモニーを実施しました。その後、奥多摩駅、古里駅にて広報宣伝活動を行いました。

令和二年、三年は新型コロナウイルスの影



響で実施出来ず、昨年は保護司だけで駅頭に立ち静かに啓発グッズを配布しました。いつものことをいつも通りに行えることの大切さを感じました。

駅頭活動終了後、保護司全員で、町内の保育園、小学校、中学校を訪問、啓発グッズを渡すとともに、園長、学校長との意見交換を行いました。外からでは分からない子どもたちの生活や、先生

方の苦労などが少し分かった気がします。

奥多摩分区では秋に行われる「ふれあい祭り」にも参加し、奥多摩中学校の生徒に協力してもらい、広報宣伝活動を行う予定です。今回の駅頭活動には三年前に就任した奥多摩保護司犬のラッチーちゃん杉村保護司の愛犬も参加、愛嬌を振りまいていました。

○檜原分区 辻内 法隆

六月九日に吉本新村長に挨拶と総理大臣メッセージを伝達、その後の推進会議で社明運動の一年間の活動計画を策定致しました。

六月三十日に役場・都民の森など村内数カ所に幟旗の掲示を行い、七月五日武蔵五日市駅頭で広報活動をあきる野市と共同で行いました。その後、檜原小・中学校を訪問し啓発グッズを配布致しました。

八月十九日にはコロナの行動制限が緩和され、四年ぶりに開催された



「弘沢の滝ふるさと夏まつり」には一万人を超える来場者がありました。

西多摩保護司会長原島様・地域活動部長指田様・あきる野分区の森本様の応援を頂き檜原分区三名と事務局一名合わせて七名で弘沢の滝と祭り会場で啓発・広報活動を行いました。



第六ブロック保護司組織運営連絡協議会について

あきる野分区長 私市 豊

1. 協議員の役割分担

十月十八日の協議会に向けて各分区から選出された協議員十人と会長ほか八人で構成された第一回検討会議が八月二十三日に、秋川ふれあいセンターで開催された。しかし、新型コロナウイルスのために欠席者が多く、予期せぬ中でスタートとなる。会議の中で、役割分担を次の通り決定する。意見書作成は、福生分区の郡司さんと奥多摩分区の瀧島さん、質問事項作成は、青梅分区の福田さん、そして発表者は、あきる野分区の私市となる。

今年の協議会は「保護司の育成について」で、副題は①新人保護司の育成 ②経験・知識の継承 ③研修

の在り方の三題である。不安はあったが、対馬総務部長を中心に熱心に協議・検討を行い意見書と質問事項等が取りまとまった。

2. 意見発表と質疑応答

十月十八日を迎える。会場は聖蹟桜ヶ丘駅前のビル八階のヴィータホール。西多摩地区、八王子地区、町田地区、当番地区の日野・多摩・稲城地区の四つのブロック毎にそれぞれ二十名ほどの保護司が着席。会場前面の、ひな壇右手に東京保護観察所生駒貴弘所長をはじめとする来賓、左手に各地区会長が着席した。

西多摩地区がトップバッターで意見発表を行う。内容は、副題の①「新人保護司の育成」は、保護司として正式に委嘱を受ける前に、分区として受け入れ研修を実施する。など七項目を、②「経験・知識の継承」は、経験豊富な保護司からの体験談や苦労話を聞く。など四項目を、③「研修の在り方」は、現在の平日、昼間の研修だけでなく、夜間や土・日の開催を検討する。など五項目を発表し、最後に、現在行われている実務研修に加えて、更生保護事業に

関わった歴史的人物について学び伝えることも大事である、と結んだ。（詳細は、後日報告書にまとめられる）発表時間は十分であった。

意見発表の後、三地区保護司会から質問を受ける。答弁者は、福生分区の郡司さん、青梅分区の福田さんと玉川さん、羽村分区の倉持さんの四人が分担した。その後の三地区の意見発表には参考になるものがあり、内容等を精査し西多摩地区で取り入れることも必要と感じる。

3. 来年度に向けて

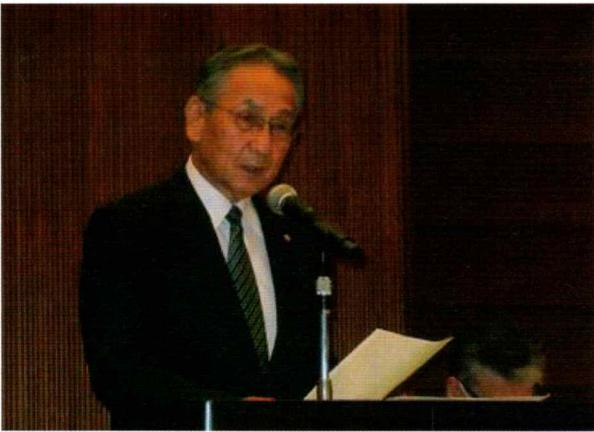
観察所長の講評、来賓祝辞と続き、大締めに原島悟会長が次期開催地区として挨拶。西多摩地域の魅力を伝



えるとともに、来年十月十六日羽村市プリモホールゆとろぎの協議会への来場を、心から歓迎する気持ちを強く訴える。

協議会に参加して、当番地区保護司会のきめ細かな運営に対して敬意を表すると共に、来年度の協議会運営の参考にする事が多くあると感じました。

結びに、本協議会に臨むにあたり、各分区から選出された協議員及び役員の皆様にご多大なるご尽力をいただき、心より感謝し、お礼を申し上げます。



会務報告

退任保護司 (敬称略)

(令和五年九月十六日付)
長い間お疲れ様でした。
今後ますますお元気でのご活躍
くださいますよう祈念申し上げます。

乙津 豊彦 (福生分区)
(在職年数 十八年)

久保田 ふみ (福生分区)
(在職年数 二十二年)

関谷 忠 (瑞穂分区)
(在職年数 十四年)

根岸 俊吉 (青梅分区)
(在職年数 二十二年)

寶榮 守 (あきる野分区)
(在職年数 四年)

新任保護司 (敬称略)

左記の方々が委嘱されました。
今後のご活躍を期待いたします。



(瑞穂分区)
大沢 厚子
おおさわ あつこ
9月17日発令



(青梅分区)
佐藤 武
さとう たけし
9月17日発令



(日の出分区)
佐藤 春彦
さとう はるひこ
9月17日発令



(あきる野分区)
佐藤 幸広
さとう ゆきひろ
9月17日発令



(瑞穂分区)
中村 緑
なかむら みどり
9月17日発令



(羽村分区)
濱中 佳子
はまなか よしこ
9月17日発令



今後の主な行事予定

月日	行事
11月15日	会報第140号発行
17日	地域活動部講演会(キララホール) 更生保護相談協力(あきる野) 常任理事会(事業執行状況他)
19日	社会参加活動(麦久保園)
20日	理事会(事業執行状況他)
28日	東京更生保護事業関係者顕彰式典
12月5日	観察官による実務研修(羽村) 更生保護相談協力(福生)
21日	更生保護相談協力(青梅)
1月18日	新年会
26日	更生保護相談協力(青梅)
2月9日	Ⅲ期定例研修・面接について(福生) 更生保護相談協力(羽村)
15日	Ⅲ期定例研修・面接について(あきる野)
19日	Ⅲ期定例研修・面接について(青梅)
22日	Ⅲ期定例研修・面接について(青梅)
3月4日	常任理事会
15日	理事会
21日	会報第141号発行予定 更生保護相談協力(あきる野)
その他未定	新任保護司研修 更生との協議会

編集後記

コロナが5類になったことで各分区の社会を明るくする運動も活発となり参加者数も大幅に増えて各分区の活動報告も中身の濃い内容となっております。

皆様方のご協力に感謝申し上げます。また第6ブロック保護司組織運営協議会では、経験・知識の継承や新人保護司の育成のあり方について考へなるご意見が出ていたと思います。

来年度は西多摩地区が当番となりますので、皆さんのお力添えをよろしく願います。

本号の表紙には、青梅の「鹿舞」、日の出の「鳳凰の舞」を掲載しました。

広報部 中野 修

